

令和 7 年 9 月 12 日

燧灘貧酸素情報（第 1 号）

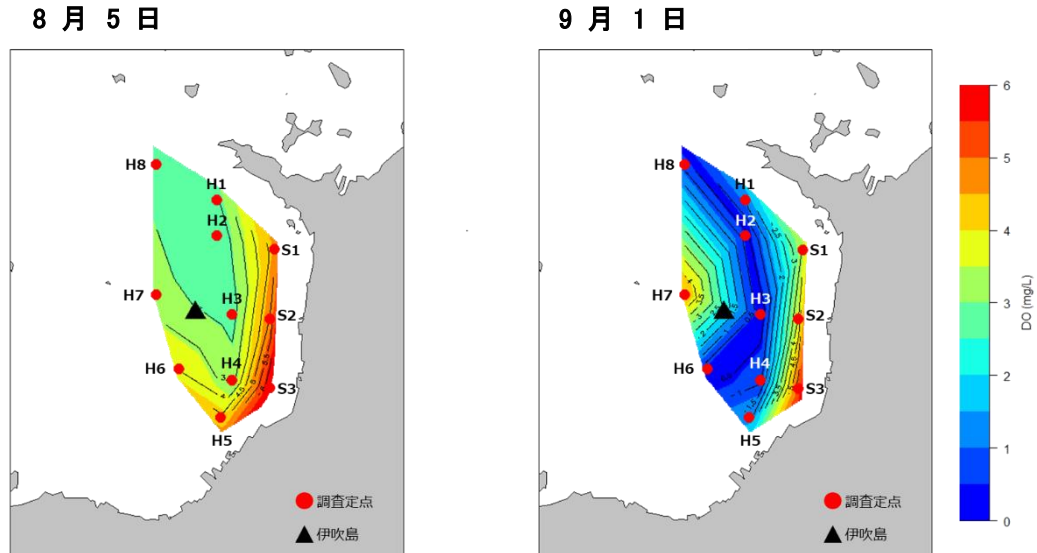
香川県水産試験場

令和 7 年 8 月・9 月の調査結果

8 月 5 日と 9 月 1 日に行いました調査の結果をお知らせします。

【概況】

- ・ 9 月上旬の燧灘では、8 月上旬と比較して、沖合を中心に底層の溶存酸素量が低下しています。
- ・ 沿岸部（定点 S1-3）を除くほぼ全ての定点（H1-6、H8）で底生魚類の生存困難とされている 2.2 mg/L を下回っています。
- ・ 表層と底層の水温差が最大 6°C 前後（定点 H6；水深約 18 m）であり、海水の上下混合が起きにくい状況と思われます。



溶存酸素量(DO)の目安*

溶存酸素量	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。